

地方分権改革の旗手会議（令和6年度第1回）の概要

【日 時】 令和6年10月28日（月）～31日（木）

【開催方法】 Web開催（使用する会議ツール：Zoom、Webex）

【参加人数】 旗手交流会：47名

※ 全体会議は、YouTubeによる動画配信

（視聴期間：令和6年10月23日（水）～11月29日（金））

※旗手会議は、全体会議（内閣府からの説明、地方自治体による事例紹介）と旗手交流会（旗手同士の交流、情報交換を目的）の2部構成としている。

○全体会議

（内閣府からの説明）

提案の集め方や、提案募集方式の主な作業手順、提案に係る具体的な事務等について当室より説明を行いました。



【坂越室長 あいさつ】

（地方自治体からの事例紹介）

独自の取組を行っている地方自治体から、提案募集に関する取組事例について紹介いただきました。（愛知県）



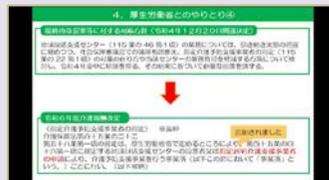
【愛知県の説明資料（一部）】

また、他自治体の参考となる提案をした自治体として、地方分権改革推進アワード受賞団体から、提案の背景や内容について、事例の紹介をしていただきました。

（豊田市（中核市市長会）、さいたま市）



【豊田市の説明資料（一部）】



【さいたま市の説明資料（一部）】

○旗手交流会（60分間）5グループで意見交換を実施。

【テーマ】

- 各地方公共団体における提案提出に至るまでの取組について
- 地方公共団体間の連携について

主な発言

- 提案の発掘に向けた取り組みとして、昨年、旗手会議で紹介のあった事例を参考に、全職員を対象に匿名のアンケートを実施し、提案に結びついた。提案数が0件の年も多かったので、アンケートを実施したことで現場からの細かい支障が出ているという印象をもっている。
- 県と市町村との連携等に関する取組として、毎年大体11月頃に内閣府の担当講師を呼んで市町村も参加する研修を実施している。研修の直後に支障事例を集めて、そのまま簡易相談・事前相談に繋げ、提案にしている。主提案者は市町村（事前相談も）で、情報の集約は県で行っている。

参加者の声

- 普段関わることが少ない他県の方と交流させていただいたことで、他自治体における提案件数の向上に向けた取組を知ることができ、本市においても大変参考となる情報を提供いただきました。
- この交流会をきっかけにさらに詳しく知りたい取組について、個別で連絡を取る機会ができたため、大変感謝しております。

旗手交流会の様子

